



甲州街道

- | | | | |
|----------------|-------|------|-----------|
| 国道 | JR線 | 区役所 | 一般病院・医院 |
| その他の道路 | 私鉄線 | 学校 | 東京災害拠点病院 |
| 首都高速 | 地下鉄線 | 郵便局 | 救急指定病院 |
| 旧甲州街道 (甲州道中) | 都・県境界 | 警察 | 広域避難場所 |
| 旧街道ルート | 区境 | 消防署 | 帰宅困難者支援施設 |
| 0.0km 日本橋からの距離 | 公園・緑地 | 官公署 | 給水所／応急給水槽 |
| | | コンビニ | 寺院 |
| | | ホテル | 神社 |
| | | | トイレ |
| | | | 銭湯 |

20 仙川一里塚跡

甲州道中に築かれた一里塚のあったところである。江戸日本橋を起点としておよそ五里にあたる。一里塚は、普通五間(約9m)四方、高さ一丈(約3m)の定めに基づき築かれた。旅人は里程の目安として、木陰で休息をとった。現在、塚のおもかげはないが、土地の人は今でもこのあたりを塚と呼んでいる。

19 大橋場の跡と地蔵

街道から古い川筋脇の道にほんの数メートル入ったところに、武州千歳村大橋場跡と書かれた銅製の橋の親柱と、その脇に数対の地蔵がある。これは江戸時代にこの辺りの繁栄に寄与した地頭名主の下山一族の建てたもので、下山地蔵尊と称される。人々は身代わり地蔵尊出世地蔵尊と呼んだという。

21 武者小路実篤記念館と実篤公園

「白樺派」の代表的作家として文学ばかりか、美術、演劇、「新しき村」の運動や思想と幅広い分野にその足跡を残した武者小路実篤は、昭和30年(1955)に湧水と雑木林のこの地に移り住み、晩年の20年間をすごした。没後、同53年に屋敷跡を公園とした。また数々の作品や遺品を集めて記念館が60年に開設されている。

18 蘆花恒春園

徳富蘆花が明治40年(1907)から昭和2年(1927)に亡くなる直前まで住み、自ら恒春園と名付けた住居を中心とした公園である。没後10年に愛子夫人から東京市に寄付され、翌昭和13年(1938)に開園した。旧宅、記念館、墓所の恒春園地域と、周辺に児童公園、草地広場、花の丘などが整備され、武蔵野の面影を遺している。



東京国道事務所
 東京の安心を作り、元気を支えます
<http://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/>
国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所
 〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎 15・16階
 TEL.03-3512-9090 FAX.03-3512-9889
 【最寄り駅】 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅(6番出口) から徒歩約5分です。

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図(平成16年度)を使用して作成したものである。(承認番号) 19都市基交 第412号

この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号: 19東デ共第 022号)